

市では、予算の執行状況や決算について公表し、皆さんが納めた税金などがどのように使われているのかをお知らせしています。  
 今回は、平成26年度の決算概要をお伝えします。  
 問い合わせ 財政課 ☎074-6063211

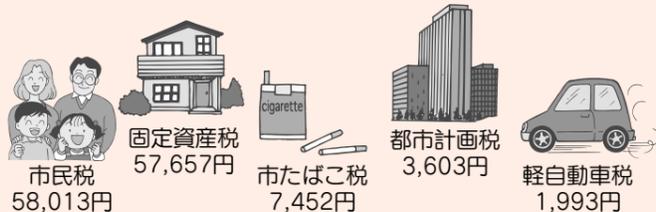
# 一般会計

市の基本的な経費を取り扱う会計

## 市の財政を1人当たりで換算すると…

※人口145,571人（外国籍のかたを含む・平成27年3月31日現在）で計算

市民の皆さん1人当たりが負担したお金 128,718円



市民の皆さん1人当たりに使われたお金 368,715円



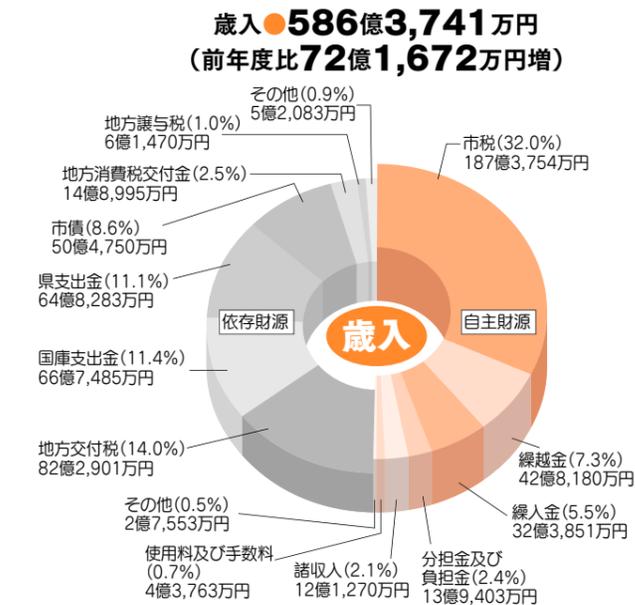
市税（市民の皆さんが負担したお金）の内訳は、市民税84億4,496万円、固定資産税83億9,318万円、市たばこ税10億8,475万円、都市計画税5億2,451万円、軽自動車税2億9,013万円です。

市税のうち都市計画税は、都市計画事業（道路や下水道など都市計画施設の整備に関する事業）または土地区画整理事業に要する費用に充てるために課税される目的税です。平成26年度は、土地区画整理事業や下水道事業の財源として活用しています。

### 歳入のポイント

歳入は、市民税などの市税が微減したものの、消費税増税による地方消費税交付金の増加、平成26年2月に発生した大雪による復興再建のための県支出金、財政調整基金からの繰入金増加などにより、総額では前年度比72億1,672万円増となりました。

**自主財源**：市税や使用料など市が自主的に集めることのできる財源  
**依存財源**：地方交付税や国・県の補助金など、国や県などから交付される財源

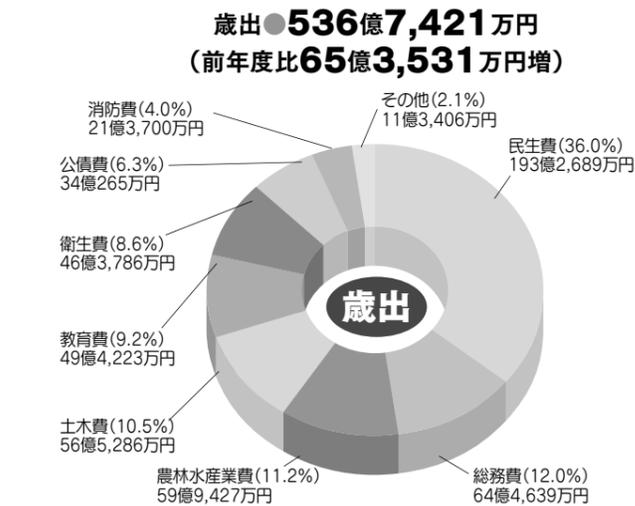


### 歳出のポイント

歳出は、産業交流施設『深谷ベース』の工事完了により、中心市街地商業活性化事業が減少したものの、大雪による復興再建経費として、農業施策推進事業が増加したことなどにより、総額では、前年度比65億3,531万円増の536億7,421万円となりました。

### 平成26年度の主な事業

- 農業施策推進事業  
平成26年2月の大雪被害に関する復興経費  
決算額：47億40万円
- 衛生センター再整備事業  
し尿処理施設の再整備を実施  
決算額：2億1,668万円
- 消防救急デジタル無線移行事業  
消防救急無線のデジタル化工事  
決算額：2億3,856万円



# 特別会計

特定の歳入歳出を一般会計と区別して経理する会計

会計	歳入	歳出
国民健康保険	176億9,785万円	169億8,523万円
後期高齢者医療	22億3,138万円	22億2,812万円
農業集落排水	8億4,701万円	8億2,846万円
国済寺土地区画整理	6億1,355万円	6億 516万円
岡中央土地区画整理	9,400万円	7,284万円

# 企業会計

独立採算を原則として経営を行う事業の会計

水道事業（税込み）			下水道事業（税込み）		
区分	収入	支出	区分	収入	支出
収益的収支	29億2,538万円	26億6,208万円	収益的収支	22億6,825万円	23億2,674万円
資本的収支	19億3,166万円	45億 71万円	資本的収支	16億2,556万円	22億7,232万円

※収益的収支の支出額については、現金支出を伴わないものも含まれるため、収入額より大きくなる場合があります。また、資本的収支の収入額が支出額に対し不足する額については、各会計の内部留保資金などで賄っています。

公有財産	
行政財産	土地：2,920,037㎡ 建物：378,752㎡
普通財産	土地：295,256㎡ 建物：21,272㎡
物権（地上権）	495㎡
有価証券（テレビ埼玉株券ほか）	2,875万円
出資による権利	93億 939万円
債権	
貸付金	1億5,093万円
基金	
行政振興基金など	156億2,645万円

